

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成 28 年 9 月 30 日

計画の名称	1 愛西市における循環のみちの実現							重点配分対象の該当				
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）			交付対象	愛西市							
計画の目標	下水道の整備を行い、普及促進を図り、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
計画の成果目標（定量的指標）	・下水道処理人口普及率を11.6%（H23当初）から28.5%（H27末）に増加させる。											
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考			
① 下水道処理人口普及率 処理区域人口／行政人口	当初現況値 (H23当初)		中間目標値 (H25末)		最終目標値 (H27末)		()は計画					
	11.6%		21.9%		28.5%							
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	(4,136百万円) 3,230百万円	A	(3,627百万円) 2,995百万円	B	—	C	(509百万円) 235百万円	D	—	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	(14.9%) 7.3%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
愛西市上下水道部下水道課で実施	平成28年9月
	公表の方法
	愛西市のホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
											H23	H24	H25	H26	H27				
No.1処理区（日光川下流処理区）																			
A1-1	下水道	一般	愛西市	直接	愛西市	汚水	新設	佐屋地区（主要な汚水管1）（未普及）	汚水管 L=14km	愛西市						1,375	—	—	
A1-2	下水道	一般	愛西市	直接	愛西市	汚水	新設	佐織地区（主要な汚水管2）（未普及）	汚水管 L=15km	愛西市						1,618	—	—	
A1-3	下水道	一般	愛西市	直接	愛西市	汚水	全種	効率的な事業実施のための基本的な計画策定等	調査・検討	愛西市						2	—	—	
合計												2,995							

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
										H23	H24	H25	H26	H27				
合計																		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
										H23	H24	H25	H26	H27				
C1-1	下水道	一般	愛西市	直接	愛西市	新設	佐屋地区（汚水管1）	汚水管 L=2km	愛西市						123	—	—	
C1-2	下水道	一般	愛西市	直接	愛西市	新設	佐織地区（汚水管2）	汚水管 L=2km	愛西市						112	—	—	
合計												235						

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C1-1	基幹事業の管渠と接続する枝線整備を一体的に行うことによって、効率的な普及率の向上を図る。	
C1-2	基幹事業の管渠と接続する枝線整備を一体的に行うことによって、効率的な普及率の向上を図る。	

D 社会資本整備円滑化地積整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
										H23	H24	H25	H26	H27				
合計																		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		下水道の整備を行った結果、愛西市の下水道処理人口普及率を11.6%（H23当初）から23.8%（H27末）に増加させ、市民の安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境の創造に寄与することが出来た。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及 率）	最終目標値	28.5 %	目標値と実績値 に差が出た要因	下水道処理人口普及率の最終目標値28.5%には、4.7ポイント達成しなかった。この要因としては、市の財政状況や労務単価の上昇等に伴う工事費の増大により面整備工事の進捗が遅れたことが要因と考えられる。
		最終実績値	23.8 %		
			目標値と実績値 に差が出た要因		
	最終実績値				
			目標値と実績値 に差が出た要因		
	最終実績値				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
愛西市の下水道処理人口普及率は全国平均（平成27年度末 77.8%）に比べて低いため、今後も引き続き公共下水道の整備を行い、下水道処理人口普及率を向上させる。また、重点アクションプランに基づき事業のスピードアップを図るとともに、引き続き、低コスト手法を積極的に採用して、事業のコスト縮減に努める。					